

## 「ゆめみどり」のシーダーテープを用いた1年1作直播栽培における効率性向上

### 要約

直播栽培は移植栽培と比較して、在ほ期間が長く、使用できる除草剤が限られるため除草作業に多くの時間がかかってしまった。一方、苗掘り取り・選別、定植時間が削減され、6月の繁忙期の作業分散ができた。株間 25cm での直播栽培については株間 25cm での移植栽培と同等の収量を得ることできた。

### ○ 展示のねらい

栽培面積の拡大や生産者の高齢化に伴い、慣行のセル苗地床育苗の移植栽培では育苗後の掘り起こしや苗の移植作業で大きな労力が必要となり、体力的な負担や労働力不足になること、また、栽培面積を拡大した際に作業が間に合わないという課題があった。そこで「ゆめみどり」のシーダーテープを用いた直播き栽培により繁忙期の作業労力削減化を図る。

### ○ 主な成果

- ・ 1 番刈り～3 番刈りまでの単収(t/10a)は供試区②（直播株間 25cm）で 4.7 t/10a、慣行区（移植株間 25cm）で 4.9 t/10a と同程度だった(図 1)。 ※供試区①：直播株間 18cm
- ・ 3 月～10 月までの総作業時間は直播栽培で 540 分、移植栽培で 580 分と直播栽培の方が作業時間の短縮になった。除草時間は直播栽培が 480 分、移植栽培が 300 分と直播の方が時間を要したが、6 月の繁忙期の作業時間は直播栽培で 120 分、移植栽培で 270 分と 5 割程度作業時間を削減できた(図 2、3)。

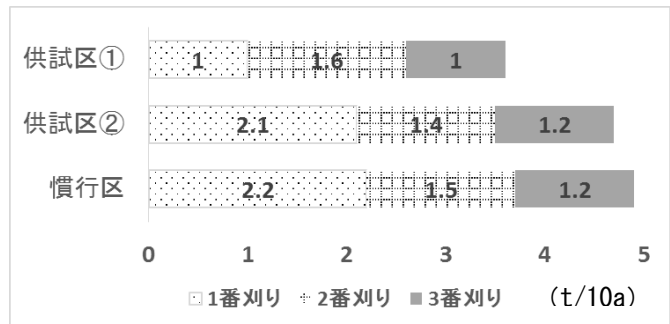


図 1 単収（出荷可能数量換算）(t/10a)

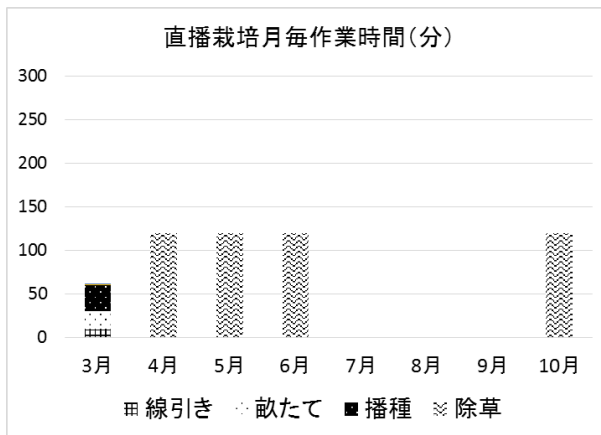


図 2 直播栽培月別作業時間（分）

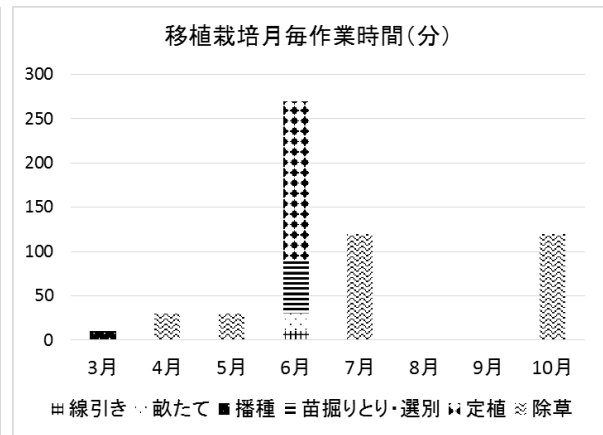


図 3 移植栽培月別作業時間（分）

### ○ 今後の方向性

直播栽培は6月繁忙期の作業省力化に効果的である。面積を拡大し作業が間に合わない、高齢化で少しでも省力化したい条件での一つの選択肢として情報提供していきたい。

実施機関：下都賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：下野市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315